

# 2018年度 第5回常任幹事会議事録

## ■議題1 予算について

### ●日時

2019年2月16日(土)  
15:00~17:00

### ●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

### ●出席者

秋元圭一 [会長]  
日野 高 [副会長]  
甲斐光省 [副会長]  
小山 弘 [事務長]  
三好耕之 [常任]  
西田一成 [常任]  
桜井裕美 [常任]  
浜村圭一 [常任]  
白石龍子 [常任]  
小山優子 [常任]  
勝山昌幸 [常任]  
大野美菜子 [常任]  
山田直毅 [常任]  
藤原成理 [常任]  
上村晴美 [常任]  
石井育美 [会員]

### ●委任欠席者

土橋洋一 [常任]  
大村政幸 [常任]  
松岡和彦 [常任] 藤原氏

(幹事16/27名 定足数成立)

### ●議事進行:

小山 弘

### ●議事録

書記:大塚奏芽 [学生]  
校正・制作・文責:秋元圭一、  
勝山昌幸、藤原成理、  
大村政幸、小山 弘

秋元:今回は、上がってきた細かい数字をもとに、案(たたき台)として皆さんに提示する。

### 【予算概要】

- ◎事務局 46万5千円(前年度と同じ)
- ◎各委員会 合計118万円(前年度よりマイナス12万円)

### 【予算内訳】

#### ◎事務局

- ・同窓会の活動を活性化するため、常任幹事会以外に会議の場が必要であれば、予算として1回5千円程度を上限として支給する計画がある。

#### ◎選挙管理

- ・選挙は今期実施のため、来年度は計上しない。

#### ◎会計担当 前年度と同じ

#### ◎名簿管理 前年度と同じ

#### ◎ウェブ 3万5千円

- ・前年度の予算から、サイト更新作業・資料代を除外した。

※新ウェブサイトの企画については、来年度以降に企画案が提示されてからの進行となる。

#### ◎同窓生在校生支援 前年度と同じ

#### ◎広報

- ・同窓会ニュース印刷費 3万~6万円
- ・郵送費 25万~27万円

#### ◎まんが計画

- ・冊子制作費等 15万円

※来年度、アサビフェスタにも参加するのであれば、上記に4~5万円が追加される可能性がある。

### 【その他の意見】

- ・会費収入や前年度からの繰り越し金は、前回の数字を載せてある。会費収入は、学生数の変化によって今後変わる可能性がある。
- ・次年度繰り越し金も、今年度を元にしていないため、実際の金額ではない。
- ・その他別紙参照

## 質疑応答

大野：サイトリニューアルの話が出ていたが、それにかかる予算はその都度話し合いで決めるのでしょうか？

現行のサイトには一昨年の古い情報も載っているので、内容からリニューアルしていったほうがいいのでは。

秋元：新ウェブサイトの企画については、具体的な数字が提示されていないため、来年度予算には組み込んでいない。予算化する場合は、再来年度以降の予算になる。

小山：次回の12月に行われる企画会議で、具体的な計画を提示してほしい。

秋元：これから先収入が増える訳ではない（減っていく可能性がある）ので、予算案は抑えた形で提示している。

臨時の出費が必要であれば、常任幹事会で話し合い、了解の上で臨時予算を出すこともできる。

西田：次年度に新たな企画を行おうとした場合、予備費がないため、ある程度の予算を用意しておいたほうがいいのか？

また、アサビブリッジなど、今回の書類から項目ごとなくなっているものがある。書類を見ただけだと、企画自体がなくなったと感じてしまうため、予算0円でも載せておいた方がよい。

その他の継続企画についても、項目が消えているだけなのか、企画自体が消えたため予算を組んでいないのかの区別がつかない。

秋元：新たな活動については、まず立案～検討が必要なもので、来年度予算には入れなくて良いと思う。そのための企画の話し合いの費用は、事務局の費用から賄うということにする。

継続活動のうち、今回提示の書類上で項目が抜けているものについては、追って記載しておく。

予備費としては、内容が未定のものを入れておかなくてよいと解釈している。

ただし、よくわからない内容の予備費は出さない予定。

勝山：有志で集まった際の企画会議の費用は、事務局予算から支出されるのか？  
会議費から支出される場合、現状の予算設定で足りるか？

秋元：内容に応じて、他の予算項目から支出できる場合は、そこから出してもいいと考えている。

その点も踏まえて、次回の会議で修正案を提示する。

日野：額にもよるが、事務局予算という形で計上し、結果的にマイナスになってもよいのでは。12月の企画・予算決めの段階で、できるだけ具体的になっていると行動しやすい。

## 議題2 常任幹事選挙について【資料1参照】

### 「選挙のお知らせ」について

秋元：今回提示した資料は仮の内容で、例年通りの方法で（定年制を設けず）選挙することを前提に作成した。

投票用紙の名簿は3年前のものを流用しており、その後に追加された幹事（21名）の枠が付け足される。

日程についても暫定になっている。

「選挙のお知らせ」の日程としては、2月中から準備～3月中旬頃には完成させたい。

・ 前回の「選挙のお知らせ」から訂正する部分

「投票用紙の中から14名を選出」→「15名」に変更

### 質疑応答

日野：住所不明の幹事で居場所を知っている人がいるが、いつまでに情報を渡せばいいか？

秋元：3月初旬までに情報をもらえればいい。

藤原：細字になっている「選出しない」人の欄は、記入できないようにしたほうがいいのでは？

改姓した人について、前は旧姓をいれていたような気がしたが、この表記でよいか。

また、氏名が横線で消えてるのはどういう人なのか？ 欄ごと消してはいけないのか？

秋元：旧姓については、もともと入れていない。

横線で消されている箇所は、すでに亡くなっている方。欄ごと消してしまうと、その卒業年の常任幹事欄が消えてしまう。本来的には、同学年から別の人を出してほしいと思っている。

三好：投票対象外の細字グレーになっている名前に、分かりやすく「※」をつけるのはどうか。

秋元：「※」を入力するための手間がかかってしまう。

これまで細字の方に投票した人はいないため、間違いやすい項目を入れたくない。赤線の部分（添付資料）は、今回の会議用の説明用なので、完成版には記載しない。

大野：在学時と姓が変わっている場合、同級生がわからない。

秋元：データベースに登録された名前を載せることにしている。旧姓は反映していない。

日野：今回、石井さんを推薦枠に入れるのか？

秋元：会長推薦とする予定。

白石：投票期限は3月30日なのか？

秋元：とりあえずの日付なので、後ほど検討・修正する。

### **選挙の年齢制限について【資料2参照】**

西田：前回、年齢制限は会則に盛り込まないという話になったが、会則の補足とする方法があるのでは？と思い、改めて資料を作成した。

「定年を決めるのは好ましくない」という意見もあったが、年を追う毎に名簿から外れる人も増えてくるため、被選挙リストから一定以上の年齢枠を減らし、若い人の有効票を増やしたほうが良いと思う。

被選挙枠から外れても、実際に活動している方については、常任幹事会の推薦により「名誉常任幹事」などとしてもよいのでは？

制限する年齢については、退職してから余裕がでる人もいるため、卒業年度から45年（70歳前後）で線引きをし、効率よく選挙制度を運営したほうが良いのではと思う。

1学年内で4歳ほどの差がある場合もある。

### **質疑応答**

白石：前回までの選挙で、70代からの封筒の回収率は？

小山：0ではなく、むしろ70代の方が多気もする。しかし、全体で調べたわけではない。

秋元：投票用紙は無記名なので調べられない。一学年ほぼ住所不明な年代もある。被選挙リストから70歳以上を削除してもよいと思うが、選挙権を無くしてよいわけではない。定年制は設けてもよいのではと思う。

藤原：普通の選挙では年齢制限はないから、必要ない気がする。

もし（萩本欽一氏のように）40～70歳で入学したとすれば、卒業時にすでに高齢のため、常任幹事会に入れなくなる。

秋元：あくまでも卒業年度でラインを引いて、年齢で基準を設けなくすればよいのでは。

藤原：自然に減っていくことを考えれば、特に設けなくてもよいのではないかと。それよりも若い世代が参加できるような施策を考えたほうがよい。

三好：人数が決まっているため、線引きをしないと、若い人が入りづらいのではないかと。

大野：選挙リストから15人も選びようがない状態であるため、若い年代に票が入らないわけではない。

三好：自治体での活動経験では、上の方が降りた方が若い人が入りやすいように感じている。

いつまでもみなさんを引っ張っていく形ではまずいと思う。

西田：いまの選挙のしくみは、自分に近い世代しか選ばないと思う。

勝山：実際に開票作業に立ち会うと「内情をよくわかって投票している人」「適当に丸をつけている人」の二種類がいることが分かる。

適当に付けている場合、印象に残る名前の方が選ばれることが多い。

また、選挙で選出されたからといって、必ず常任幹事会に来るわけでもない。

新しい人が参加しやすくなるのは、選挙のしくみとは別ではないか？

西田：元気なうちは同窓会の運営に関わっていたいが、自分から抜けられる環境も作っておいた方がいい。

常任幹事として活動してくれる人は「学年単位の利益」を考えているわけではなく、学校や同窓会のことを総体的に考えている人が多いと思うので、特定の年代が抜けても不利益は生じないのではないか。このことは、いま自分が提案する意味があると思っている。

藤原：以前、松岡氏が提案した青年部をやってみてはどうか？

会則の変更では変わらない気がする。

勝山：学年で住所不明者や辞退者が多く偏る層があってはいけないと思う。

秋元：常任幹事会だけでなく、協力者を増やしていけるなら、選挙の方法を変えなくてもやっていけるのでは。

被選挙年齢をある程度で線引きしておく、気分的に「卒業」と感じることができると、設定することには賛成。

その際は、会則の補足という形でなくてもよいと思う。

常任幹事会という枠に囚われず、幹事以外の人でも参加しやすくなればいいのでは？

同窓会の活動に、関われるうちは関わっていきたいが、協力できなくなった場合、一線を退くことが選べた方がいい。

活動に協力できなくなって、口だけになるのは嫌だと思う。

ただ参加するだけでは意味がない。

藤原：選挙で選ばれても、常任幹事会に出席しない人の扱いをどうするのかを考えた方がいい。

秋元：参加を強制できないので、参加できないことが分かっている人には辞退を認めている。

本人が出られない場合、同学年で代理を立てる仕組みにはなっていない。

出てこない人に対して、説得をする労力は無駄だと思う。

事務局長か会長しかやる人がいない。

なるべく個々の負担にはしたくないので、来ない人はそのままにするのがいい。

勝山：「選挙の仕組み」と「新しく協力者を募る」話が混ざってしまった。  
今のところどの方向性がよいと考えているか、みなさんの考えをまとめておきたい。

[挙手によるアンケート]

- 1、一定の年齢で定年を設ける 0名
- 2、選挙権は残し被選挙権をなくす 5名
- 3、従来通り制限を設けない 8名

日野：選挙の定年制については、次回の選挙は従来通り行い、この議題については継続審議でよいと思う。

山田：そこまで変える必要はないのではと感じる。

### 議題3 その他

#### 会計から

三月末に今年度分の清算をおこなう。  
立替金などは4月の幹事会までに振り込みか手渡しで渡す予定。  
費用請求がある場合は、金額をお知らせください。  
領収書は白石氏、明細（データ）は秋元氏まで。  
参加交通費は+100円（飲み物代）で支払う。

#### 議事録の取扱と企画会議のあり方について

小山：前回の企画会議で松岡氏から提案された内容を、会議後に取り下げたいという申し出があった。これについて皆さんの意見を聞きたい。

勝山：議事録に残すかどうかということか？

小山：「議案を取り下げたのだから議事録からも削除してほしい」との申し出があった。基本的には会議での発言等は議事録から削除出来ない。また、取り下げる内容でもないと思う。

勝山：「青年部」についてアイデアなどは、今回の会議でも話題になっているため、発案自体が削除されるとややこしくなるのでは。

大野：「5つの案が出たが取り下げました」ということで、発言の内容は残しておくのはどうか。

白石：せっかくなのでいい案が出たのに削除するのはもったいないと思う。

桜井：松岡氏がいない状態で話し合うのもよくない。  
提案された企画は採用したい、ということをお伝えしたほうがいい。

勝山：もし議事録から削除した場合、会議に参加した人たちの時間が無意味になるので、のべ7時間半の時間が無駄になってしまう。それは好ましくない。

小山：松岡氏から会議で話し合われた企画書の内容や資料について、制作者の許可無く同窓会のホームページ上にアップする事は著作権に抵触しないかとの問い合わせがあったが、企画書は著作権とは関係ない点と、同窓会議事録への記録なので許可も必要なく問題ないとお答えした。

藤原：前回提案された企画を、これから実際に同窓会で行おうとなった場合、松岡氏がやらないといたらどうするのか？

小山：実務を他の方に確実に引き継ぐほうがいい。基本的には松岡氏が進めて欲しい。

秋元：前回の議事録でも、松岡さんは全部をやるつもりはないという文脈だった。

日野：提案した人が実行できない場合でも、よいアイデアであれば、幹事会の中で実行する方法を考えなければいけない。

秋元：なるべく細かく話を詰めてもらわないと困ると言った。  
担当者は、事前に内容を詰めてから常任幹事会に提案するのがよい。

日野：言ったのだからあなたがやりなさい、という話ではないと思う。

秋元：提案した人が趣旨を分かっているから、誰が行うかまでを詰めて会議に上げてもらう方がよい。

日野：望ましいのはわかっているが、発案者よりも実行に適している人がいることもあるから、例外があってもいいと思う。

大野：削除してほしい趣旨はわからないが、最後に「クリエイティビティが大事」といったのはよかった。

秋元：小山氏が、松岡氏のアイデアを拒否したように受け取られたのかもしれない。

藤原：企画会議に提出すべき内容がどこまでかが線引きされていない。  
その温度差があるからいけなかったと思う。

小山：ネーミングは企画「決定」会議にしておけば、より内容が伝わったと思う。  
この件については、事前にメールで企画会議の趣旨と「スケジュールと予算の部分をお手伝いします」と伝えていたが、連絡がないままだった。

勝山：感情的になって取り下げになるのはよくない。

上村：自分が参加予定だった企画で、お話をいただいた後でメールで確認の連絡をしたが、挨拶のみだった。

小山：こういったことがないように、企画会議までに詰めておくべき内容と情報を示した見本（フォーマット）を作成していかないといけないと思う。

### **Slackの活用について**

勝山：コミュニケーション手段としてSlack（チーム作業に適したクローズドのSNS）を使うことで、幹事間の連絡が密になり、新しい協力者も募りやすくなるのではないかと感じている。

これについては、次回以降に提案したい。

選挙の仕組み（定年制）と予算案については継続審議となり、会議は閉会した。

**次回の開催予定：4月13日(土) 15:00～17:00 「常任幹事会」**



【資料1 参照】

平成31年3月 阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会

●平成28～31年度

# 常任幹事選挙 の お知らせ

●選挙日程について(予定)

- ・2月中旬から3月初旬——幹事リストの確認作業  
選挙用紙の作成・プリント
- ・3月09日か16日——選挙用紙の封入・発送
- ・3月30日(土)——投票締切り
- ・4月6日か13日(土)——開票作業
- ・4月6日か13日(土)——常任幹事会で選挙結果発表

〈提案〉

被選挙人に推薦したい方がいましたら推薦ください。

幹事の皆様におかれましては、益々のお清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年度行う予定だった選挙の一年延期を幹事会に提案し承認をいただいております(全ての常任幹事の任期の一年延長についても承認いただいております)為、常任幹事選出選挙のお知らせです。会則第11条及び第15条5～7項により、平成31～34年度(任期4年)の常任幹事を、裏面、投票用紙にある幹事の中から選出いただきたく、ご案内申し上げます。

常任幹事改選の対象は**15**名(任期終了13名)です。今回は本来、13名の改選ですが

前回ご案内したように、少しでも多くの方に運営に関わっていただきたく、2名多く選出いたします。

任期は平成34年度までで、継続常任幹事14名とあわせて29名になります。

投票用紙の中から~~14~~<sub>15</sub>名の常任幹事を選び**4月6日**(6日消印有効)までに返送をお願いします。

継続、辞退と表記のある方は選出しないでください。

更に、住所が変わるなど案内等を送れない幹事さんが増えています。

投票用紙のグレー文字の方です。この方も選出しないでください。

住所不明幹事さんの住所等の分かる方がおられましたらお知らせください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会選挙管理委員会

●投票用紙は同封の返信用封筒にて**3月30日(水)**までに投函してください。

裏面が投票用紙になっています

■住所不明幹事さんの新しい住所・勤務先等が分かる方はここにお書きください。

氏名	電話番号(自宅・勤務先)	メールアドレス
〒	住所(自宅・勤務先)	

氏名	電話番号(自宅・勤務先)	メールアドレス
〒	住所(自宅・勤務先)	

ホームページアドレス ▶ <http://www.asabi-net.jp>

●阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-3-3 阿佐ヶ谷美術専門学校内 TEL.03-3313-8655 FAX.03-3313-8658

2019年度予算案(第1校)

2018.6.28

予算案(2019年度)	
<b>事務局費</b>	
運営費	100,000
管理費(議事録・データ等)	35,000
会議費	70,000
通信費	30,000
交通費	90,000
事務用品費(消耗品等)	10,000
雑費・予備費	20,000
小計	355,000
<b>WEB委員会</b>	
運営・企画・作業費	24,000
サイト更新作業	0
サーバ関連費	6,000
資料代	0
雑費	5,000
小計	35,000
<b>同窓生・在校生支援</b>	
卒業同窓会賞(賞金×9)	90,000
卒業同窓会賞(賞状/フレーム)	16,000
卒業パーティー補助金	100,000
雑費	14,000
小計	220,000
<b>広報・同窓会ニュース</b>	
印刷費	30,000
制作費	20,000
郵送料	250,000
雑費	10,000
小計	310,000
<b>会計担当</b>	
決算書・予算書作成費	20,000
帳簿作成管理費	25,000
監査関連費	25,000
小計	70,000
<b>コラボ企画(さんよん会・他)</b>	
運営費	0
通信費	135,000
交通費	5,000
雑費	5,000
小計	150,000
<b>会則検討・会費徴収準備</b>	
小計	0
<b>総会パーティー</b>	
年間作業費	0
予備費	0
小計	0
<b>名簿管理</b>	
年間作業費	30,000
フォーマット移行作業費	0
アプリケーション購入代	0
雑費	5,000
小計	35,000
合計	465,000
<b>WEB委員会</b>	
運営・企画・作業費	24,000
サイト更新作業	0
サーバ関連費	6,000
資料代	0
雑費	5,000
小計	35,000
<b>同窓生・在校生支援</b>	
卒業同窓会賞(賞金×9)	90,000
卒業同窓会賞(賞状/フレーム)	16,000
卒業パーティー補助金	100,000
雑費	14,000
小計	220,000
<b>広報・同窓会ニュース</b>	
印刷費	30,000
制作費	20,000
郵送料	250,000
雑費	10,000
小計	310,000
<b>まんのが計画-5</b>	
運営費	0
通信費	135,000
交通費	5,000
雑費	5,000
小計	150,000
<b>総会パーティー</b>	
年間作業費	0
予備費	0
小計	0
<b>名簿管理</b>	
年間作業費	30,000
予備費	5,000
小計	35,000
合計	1,180,000

2019年度予算案 自2019年4月1日～至2020年3月31日

単位:円

収入の部 計	2019年度予算	内訳	備考
前年度繰越金	11,949,460		
新入生会費	10,893,960		
手数料	1,110,000		10,000×111名(見込数)
預金受取利息	-55,500		(上記5%の手数料)
前年実績額	1,000		
小計	1,055,500		
<b>支出の部 計</b>	<b>1,180,000</b>		
<b>●事務局予算</b>	<b>465,000</b>	<b>355,000</b>	<b>715,000</b>
<b>事務局</b>			
管理費(議事録・データ等)	100,000		
会議費	35,000		
通信費	70,000		
交通費	30,000		
事務用品費(消耗品等)	90,000		
予備費	10,000		
運営費	20,000	5,000	
事務用品費(消耗品等)	5,000		
通信費	0		
作業費	0		
予備費	0		
集計作業・プリント代	70,000	70,000	
名簿管理		35,000	
年間作業費	30,000		
予備費	5,000		
小計	355,000		
<b>●プロジェクトチーム予算</b>	<b>715,000</b>		<b>35,000</b>
<b>☆Web関連</b>			
運営・企画・作業費	24,000		
サイト更新作業	0		
サーバ関連費	6,000		
資料代	0		
雑費	5,000		
<b>☆同窓生・在校生支援</b>			
卒業同窓会賞(賞金×9)	90,000		
卒業同窓会賞(賞状/フレーム代)	16,000		
卒業パーティー補助金	100,000		
雑費	14,000		
<b>☆広報・同窓会ニュース</b>			
印刷費	30,000		
制作費	20,000		
郵送料	250,000		
雑費	10,000		
<b>☆まんのが計画-5</b>			
運営費	0		
通信費	135,000		
交通費	5,000		
雑費	5,000		
小計	150,000		
<b>総会パーティー</b>			
年間作業費	0		
予備費	0		
小計	0		
<b>名簿管理</b>			
年間作業費	30,000		
予備費	5,000		
小計	35,000		
合計	465,000		
合計	715,000		
合計	1,180,000		
次期繰越金	10,769,460		

## 平成31～34年度常任幹事選挙・投票用紙

※15名を選出し、その方の名前左欄に○をしてください。『継続』と表記のある方は選出ししないでください。

又、辞退の方、グレー文字の方は住所不明で案内が送れないため、やはり選出ししないでください。

平成31年3月30日(30日消印有効)までに同封の返信用封筒にて返送をお願いします。

なお、定数オーバー(15名以上)の選出、締切り以降の投函、同窓会印の無い投票用紙は無効と致します。

同票得票者が複数で定数オーバーになった場合は、常任幹事の意見を参考に会長が判断しますのでご了承下さい。

- クラス略号  
 VD…ビジュアルデザイン科  
 CD…視覚情報デザイン科  
 SD…スペースデザイン科  
 DD…デジタルメディアデザイン科  
 TD…時尚デザイン科  
 MD…メディアデザイン科  
 MD-CD…メディアデザイン科  
 写真メディアデザイン科  
 VD…視覚デザイン科(平成21より)  
 CD…非デジタルデザイン科(平成26より)  
 FM…映像メディア科  
 IC…イメージクリエイション科  
 FA…絵画科・絵画表現科  
 AS…研究科

■年略号  
 34～63…昭和 1～26…平成

### 阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会

34年度卒VD)		6年度卒SD)		5年度卒VD)		3年度卒CD)		20年度卒CD)
35年度卒VD)	辞退	6年度卒FA)		5年度卒VD)		3年度卒CD)		(20年度卒SD)
36年度卒SD)		7年度卒VD)		5年度卒SD)		3年度卒CD)		20年度卒TD)
36年度卒SD)		(57年度卒VD)		5年度卒SD)		3年度卒SD)		20年度卒IC)
37年度卒SD)		(57年度卒SD)	継続	5年度卒FA)		3年度卒DD)	継続	20年度卒FA)
38年度卒VD)		7年度卒FA)		5年度卒IC)		13年度卒FA)		20年度卒AS)
39年度卒VD)	継続	8年度卒VD)		(6年度卒VD)		3年度卒IC)		21年度卒CD)
39年度卒SD)		8年度卒VD)		(6年度卒VD)		4年度卒CD)		21年度卒CD)
40年度卒VD)		8年度卒SD)		6年度卒SD)		4年度卒CD)		21年度卒SD)
40年度卒VD)		8年度卒FA)		6年度卒SD)		14年度卒CD)		21年度卒TD)
40年度卒SD)	継続	9年度卒VD)		6年度卒FA)		4年度卒CD)		21年度卒FA)
41年度卒VD)		9年度卒VD)		(6年度卒IC)		4年度卒SD)		21年度卒IC)
41年度卒SD)		9年度卒SD)		7年度卒VD)		4年度卒DD)		(21年度卒AS)
41年度卒夜間)		9年度卒FA)	辞退	7年度卒VD)		4年度卒FA)		22年度卒CD)
42年度卒VD)		10年度卒VD)		7年度卒SD)		4年度卒IC)		22年度卒CD)
42年度卒SD)		10年度卒VD)		7年度卒SD)		5年度卒CD)		22年度卒SD)
43年度卒VD)		10年度卒SD)	辞退	7年度卒FA)		5年度卒CD)		22年度卒MD)
43年度卒SD)		10年度卒FA)		(7年度卒IC)		5年度卒CD)		22年度卒FA)
44年度卒VD)	辞退	11年度卒VD)		(8年度卒VD)		15年度卒CD)		22年度卒IC)
44年度卒SD)		11年度卒VD)		(8年度卒VD)		5年度卒SD)		(22年度卒AS)
45年度卒VD)		11年度卒SD)		8年度卒SD)		5年度卒DD)		23年度卒VD)
(45年度卒VD)	継続	11年度卒FA)		8年度卒SD)		15年度卒FA)		23年度卒VD)
46年度卒VD)		12年度卒VD)		8年度卒FA)		5年度卒IC)		23年度卒SD)
46年度卒SD)	継続	12年度卒VD)		8年度卒IC)		6年度卒CD)		23年度卒MD)
47年度卒VD)		12年度卒SD)		9年度卒VD)		6年度卒SD)		23年度卒FA)
47年度卒SD)	継続	12年度卒FA)		9年度卒VD)		6年度卒DD)		23年度卒IC)
48年度卒VD)	継続	13年度卒VD)		9年度卒SD)		6年度卒FA)		23年度卒AS)
48年度卒SD)		(63年度卒VD)		(9年度卒SD)		6年度卒FA)		24年度卒VD)
49年度卒VD)		13年度卒VD)		9年度卒DD)		16年度卒IC)		24年度卒VD)
49年度卒SD)		13年度卒SD)		9年度卒FA)		6年度卒AS)		24年度卒SD)
49年度卒FA)		13年度卒FA)		(9年度卒IC)		17年度卒CD)		24年度卒MD)
50年度卒VD)		1年度卒VD)		10年度卒VD)		7年度卒CD)		24年度卒FA)
50年度卒SD)		1年度卒VD)		10年度卒VD)		7年度卒SD)		24年度卒IC)
50年度卒FA)		1年度卒SD)		10年度卒SD)	継続	7年度卒DD)		24年度卒AS)
(51年度卒VD)		1年度卒SD)		10年度卒SD)		7年度卒FA)		25年度卒VD)
51年度卒SD)	辞退	1年度卒FA)		10年度卒DD)		7年度卒IC)		25年度卒SD)
51年度卒FA)	継続	(2年度卒VD)		10年度卒FA)		7年度卒AS)		25年度卒MD)
52年度卒VD)		2年度卒VD)		10年度卒IC)		8年度卒CD)		25年度卒MD-CD)
52年度卒SD)		(2年度卒VD)		11年度卒VD)		8年度卒CD)		25年度卒FA)
52年度卒FA)		2年度卒SD)		11年度卒VD)		8年度卒SD)		25年度卒IC)
53年度卒VD)		(2年度卒SD)		(11年度卒SD)		8年度卒TD)		25年度卒AS)
53年度卒SD)	継続	2年度卒FA)		(11年度卒SD)		(18年度卒FA)		26年度卒VD)
53年度卒FA)		3年度卒VD)		11年度卒DD)		8年度卒IC)	継続	26年度卒DD)
54年度卒VD)		3年度卒VD)		(11年度卒FA)		(18年度卒AS)		(26年度卒CD)
54年度卒SD)		3年度卒SD)		11年度卒IC)		9年度卒CD)		(26年度卒CD)
54年度卒FA)		(3年度卒SD)		12年度卒CD)		9年度卒CD)		(26年度卒FM)
55年度卒VD)	辞退	(3年度卒FA)		12年度卒SD)		9年度卒SD)		26年度卒FA)
55年度卒VD)		4年度卒VD)		12年度卒SD)		9年度卒TD)		26年度卒IC)
55年度卒SD)	辞退	4年度卒VD)		12年度卒DD)		(19年度卒FA)		26年度卒AS)
55年度卒FA)	継続	4年度卒SD)		(12年度卒FA)		9年度卒IC)		26年度卒AS)
56年度卒VD)		(4年度卒SD)		12年度卒IC)		9年度卒AS)	●会長推薦	
56年度卒VD)		4年度卒FA)		12年度卒IC)		0年度卒CD)	継続	52年度卒VD)

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会選挙管理委員会

## 【資料2参照】

### 「阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会における常任幹事の選挙制度に関するご提案」

現在、常任幹事に関する選挙制度がありません。会員の高齢化が進み20代から90代と幅が広がり、選挙人名簿の人数も増え、選挙管理委員会の所在確認作業も大変になっています。

そこで、幹事選挙権(選出する権利)と被選挙権(選出される権利)に制限を設け、投票の効率化を高める為のご提案です。

まず、幹事が常任幹事を選出できる選挙権の行使を、卒業年から45年(仮)制定します。また常任幹事に選ばれる被選挙権の行使を、卒業年から45年(仮)に制定します。

会員の選挙権及び被選挙権の定年の制定には抵抗を感じるのは当然ですが、今後も制限なしで選挙を行っても、70代以上の会員から新しく「常任幹事」が選出される見込みはゼロに等しいと思います。

また、選挙で選ばれた70代台の常任幹事に辞退を期待するのは、投票された人に失礼と思います。新制度によって被選挙権の消滅した常任幹事でも、常任幹事会及び幹事会で活躍して頂きたい常任幹事には、常任幹事会で名誉常任幹事(仮)として推薦し、幹事会で承認して在任して頂く方法が良いと思います。名誉常任幹事(仮)の権利は常任幹事と同等とします。ただし、会長・副会長の職にはつきません。

なお、任期途中で被選挙権の権利が消滅した常任幹事は、満期まで常任幹事として任務します。

上記のご提案を補則で取扱った場合は以下の通りになります。ご検討をお願い致します。

## 阿 佐 ヶ 谷 美 術 専 門 学 校 同 窓 会 会 則

### 第11章 補則

(附則)

第50条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な規程は幹事会の議決を経て別に定める。

附則

以下の選挙制度に関する細則は、幹事会の承認を受け0000年(〇〇〇〇年)00月00日に制定・施行する。

- 1 幹事が行使できる被選挙権は卒業年から45年(仮)とする。
- 2 幹事が行使できる選挙権は卒業年から45年(仮)とする。
- 3 定年終了常任幹事は、常任幹事会が推薦し幹事会の承認を得て、名誉常任幹事(仮)として着任する事が出来る。
- 4 名誉常任幹事(仮)は、常任幹事と同等の資格(定足、発言、議決)を有し、常任幹事会・幹事会の構成委員である。

平成31年2月16日 提案者：常任幹事・西田一成